



あさぎりの歴史と文化をたずねて

# ふるさと探険隊

数々の史跡や文化財が点在しているあさぎり町。

上、免田、岡原、須恵、深田校区から集まった9人の中学生たちが、教育委員会の北川さんと一緒にふるさとの歴史や文化をたどる探険の旅に出かけました。

探険コース

- ①宮原観音
- ②岡本城跡
- ③岡本諏訪神社
- ④谷水薬師界隈
- ⑤雲羽神社
- ⑥才園古墳
- ⑦築串六地蔵
- ⑧阿蘇瀬迎堂
- ⑨平等寺の五輪塔
- ⑩勝福寺跡
- ⑪せきれい館

## 1 みやはらかんのん 宮原観音



相良三十三観音三十番札所

最初に見学するのは「宮原観音」です。今から500年ぐらい前の室町時代に建てられた木造建築で茅葺きの建物です。中には仏像を安置する厨子という小さな建物があります。相良三十三観音の一つで球磨郡の中でも一番訪れるお客さんが多い観音様なんです。

建物の柱の上に木を組み合わせた物がありますが、これは組物くみのといいます。組物がなんであるのかという説明をしましょう。この建物は中国文化の影響が非常に濃く、中国建築様式をとり入れたつくりになっているんです。この組物が柱よりも前に出てくると軒が広がる。そうすると屋根がグーンと広がる。よって建物が重厚になるんです。また垂木は普通40〜50センチの間隔で入れられ、屋根は十分支えられるのですがこれはとても密になっている。これは当時の人の美的感覚です。



この中にいらっしゃるの観音さまです。三十三変化して悩みのある人を救ってくださると云われています。今でもこの人吉球磨に残っている相良三十三観音めぐりは観音さまの三十三に由来しています。この観音さまは基本的な像で聖観音といます。手に持っておられるのは蓮の花です。つぼみが閉じているのは仏性の未成就、つまり修行中という意味で花が開いているのは成就、つまり極楽をあらわしています。

## 2 おかもとじょうあと 岡本城跡

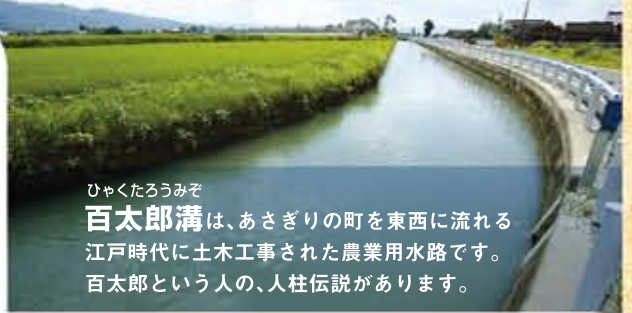
岡本は、今から800年ぐらい前の鎌倉時代、橘氏の領地であったと考えられています。南北朝時代には、相良領になったものと推測されその頃お城が建てられたようです。相良氏は戦国大名となり、江戸時代の終わりまでずっと球磨郡を守っていました。岡本城は、ここの地区名をとって「岡本城」と呼ばれていますが、その一部は広場になっており、地区のお年寄りたちが集うグラウンドゴルフ場となっています。



石段を登って広場に出たらさらにその上に石段が！昔の人たちってかなり足腰が丈夫だったんだらうなあ。

石段の先に → 岡本諏訪神社

## 田んぼの脇を流れる百太郎溝沿いを移動。



ひゃくたろうみぞ

百太郎溝は、あさぎりの町を東西に流れる江戸時代に土木工事された農業用水路です。百太郎という人の、人柱伝説があります。

## 3 おかもとすわじんじゃ 岡本諏訪神社

長野県の諏訪神社の祭神を祀った神社で、鳥居のそばには相良清兵衛らの墓があります。藩主をもしのぐほどの権力をもっていた清兵衛は岡本の地に屋敷を建て、晩年は隠居所としていました。





#### 4 たにみすやくしかいわい 谷水薬師界限

この「谷水薬師」界限は文化財が非常に多い地域で、旧上村の要所だった所なんです。そのひとつはこの薬師さんから登る中世のお城「上村城跡」。相良の殿さまの分家筋にあたる上村家第十二代頼廉よしかんさんの城で、秋は紅葉が見事なことでも有名です。

そしてもうひとつは上村城から続いている「馬場通り」。今でいうメインストリートです。馬場っていうのは馬が走っていくところですが、この通り沿いには武家屋敷の古い地割りがそのまま今でも残されています。

球磨郡でもこのような状態が残っているのは多分ここだけでしょう。大変素晴らしい上校区の誇れる場所です。これだけの文化財が残っている場所をこれからどう保存していくかもとても重要なことなんです。

紙つぼで  
投げたけど  
くつつがなく  
残念～



希望がまだから  
探検隊に参加しました！

#### におうぞう 仁王像

谷水薬師の山門に立っている仁王さんは「金剛力士像」といいます。なぜここにいらっしゃるのか？ここはお寺の入り口で、この先は聖域ですよという境界線。ここから先は不浄な人は入れませんという意味があるんです。

山門の左右に二体の仏像がありますが、「あうんの像」といい「あ」は物事の始まりを「ん」は終わりを示しています。全国的にも例がないのですが、自分が病んでいる箇所をめがけて紙つぶてを投げくつついたら病が治ると伝えられています。



えいっ！くつつっ！！



#### たにみすやくしどう 谷水薬師堂

かつては東圓寺と呼ばれた上村氏の菩提寺で福岡、京都、滋賀など全国七箇所にある日本七薬師の一つに数えられています。

薬師如来像は2004年2月に盗難にあい、もう戻ってこないだろうと言われていましたがオーストラリアのメルボルンで偶然に発見されこの麓地区の人達がお金を借りて買い戻しました。海を渡り外国をご覧になった珍しい薬師様。非常に力を持っておられるのではないのでしょうか。



#### くものはじんじゃ 5 雲羽神社

この建物は中世の建物です。面白いのは三間のあいだに三つの装飾部材があります。「かえるまた」といって、かえるがまたを広げているように見えます。三つもあるのはとても珍しいんです。装飾的にも凝っていて、屋根の下の垂木も二段に組まれています。

移動の途中に  
ちょっとお立ち寄り！



おにのかまこふん  
鬼の釜古墳は、あさぎり町を代表する遺跡の一つで、人吉球磨地方を代表する横穴式古墳です。直径約11m、高さ4.5mの石室は、巨石を積んで作られたおよそ1400年前の豪族の墓と推測されています。



この周辺には四基の古墳が集まっていて群集墳と呼ばれています。この古墳は2号墳。

#### さいぞんこふん 6 才園古墳

古墳というのは豪族のお墓なんです。作られたのは、今から1400年ぐらい前の時代。はるか昔にどのような人達が住んでいてどのような暮らしをしていたのか、そんなことを考えるのが考古学です。

この才園古墳も昔の人のお墓ですが、もともとこういう石室が露出したものではなく、墳丘の土が盛り込まれていました。円周は15mほど、高さも一般的な家の屋根ぐらい。石室の前庭部には「羨門」という入口の蓋が立てられていて、中に遺体が納められていたようです。遺体のそばにはいろいろな副葬品りゅうざんひんが入られていましたが、その中に入ったのが「鎔金獣帯鏡」という鏡です。

日本に同じ様なものは三つしかなく、一つは福岡県の二丈町で、もう一つは岐阜県の揖斐郡で発見されています。細かな紋様と銘文が彫られ全体に金メッキが施されており、国の重要文化財に指定されています。



## 7 ちくしろくじぞう 築串六地藏

この石柱面をよく見てください。これにはお地藏さんが六体彫られていますね。それで六地藏といえます。八角形の竿石に二重垂木の竿石をのせ宝珠がのせてあります。今からおよそ540年前に建てられたもので、年号や、何人かの人の名前なども彫られています。それは建立にたずさわった人達の名前でしょう。



高さ1.49m、凝灰岩で作られており元は築地(字築串)の池之王大明神のそばにありましたが、大正12年頃に現在の八幡町地区に移されました。

仏教の教えには六道ろくどうといつて六つの世界があるといわれています。そして、お釈迦様が亡くなられて56億7千万年後に、弥勒菩薩みろくぼさつが現れ、如来の位に上がって六道をお救いになるという予言があります。弥勒菩薩が現れるまでの間、私たちを救ってくれるのが地藏菩薩だと言われているんです。

田んぼの中に  
鳥居が・・・



阿蘇地区から平野地区に続く道沿い、阿蘇釈迦堂の前の田んぼの中にぽつんと立っているのは、かつてこの地にあった阿蘇神社の鳥居です。寛政9年(1797)に建立されたもの。阿蘇神社は大正12年(1923)に近くの須恵諏訪神社すゑすゐに合祀されました。

## 8 あそしゃかどう 阿蘇釈迦堂

この釈迦堂は豪族須恵氏が平安時代末期に建立した平等寺の金堂です。平等寺は球磨郡で初めて建立された真言宗の寺といわれています。外から見ると近代的な感じですが中に入ったら昔の建物だとわかりますよ。



中に安置されているのは釈迦三尊像です。中央が釈迦如来坐像、高さが85.1cm、檜の一本作りで平安時代の作です。

右は獅子台座に乗っておられる文殊菩薩さまで高さは76.3cm、左は白像台座に乗られた普賢菩薩さまで、高さ75.7cm。これらも共に檜の一本作りで、嘉元2年(1304)鎌倉時代に作られたものです。

谷水薬師の仏像が盗まれた時、この釈迦三尊像も一緒に盗難にありました。釈迦如来像は国内で見つかり、脇侍の2像はオーストラリアで見つかり、この地区の人達がお金を出し合って買い戻したため、無事ここへ帰って来られたんです。



県指定  
重要  
文化財



無事戻って来て  
よかったなあ～

## 9 びょうどうじ ごりんとう 平等寺の五輪塔

この釈迦堂の裏手には五輪塔形の庚申塔が残っています。天文4年(1535)の銘があり、球磨郡で二番目に古いもので熊本県の重要文化財に指定されています。



生前に仏事をすませお墓を建てることを逆修さかじゆといいますが、ここにもその墓石が並んでいます。

県指定  
重要  
文化財



中央にいらっしゃるのが毘沙門さんのご本尊です。平成18年にご本尊を解体修理した時、中から仏像を修理したことを書き記した3枚の木札が発見されました。南北朝時代、室町時代、江戸時代と、およそ200年おきに修理されていることがわかったんです。

毘沙門像のちょうど胸のあたりですが、この裏側に墨書きの文字が発見されました。年号が書かれてたんです。「ひさしい」と「ことぶき」の字を書いて久寿三年。いつ頃かというと1156年。今からおよそ850年前の平安時代。仏像に年号が書いてあるというのが非常に重要なんです。日本の中でもそれが発見されるのは二十年に一度といわれるほど珍しいこと。書かれた年号の頃にこの毘沙門さんが作られたということがはっきりとわかります。そしてそれを作ったのが藤原家永という人だということもわかりました。

10 しょうふくじあどびしゃもんどう  
勝福寺跡毘沙門堂

この毘沙門堂はももとは荒茂山勝福寺というお寺の仁王門でした。明治時代に廃寺となり仁王門は、かつて金堂にあった毘沙門天像などの仏像を移して毘沙門堂としました。



ちょうどお堂の横を走っている道路のあたりに建っていた仁王門を現在の場所に移動されています。壁にむかでの絵が描かれているのが見えますか？これは天井板でした。昔から、むかでは毘沙門さんの遣いといわれているんですよ。



球磨郡では平安時代の文字が残るのは少なく、だからこれは第一級の資料となるわけです。この毘沙門像のほか7体の仏像も県指定の重要文化財になっています。

知らなかったことがたくさんあるなあ。

探検を終えて



上中学校  
いんどうとしき  
大童俊樹くん

今日はいい経験になりました。あさぎり町でもすごい史跡があって自慢できると思いました。

自分の住んでいる地域でも知らなかったので恥ずかしかったです。もっと調べたいし知りたいと思いました。



上中学校  
よねがわこのこの  
米川琴乃さん



免田中学校  
なすはるが  
那須晴日くん

あさぎり町にもこんなにたくさん文化や歴史があることを知って良かったです。これからも自分で調べて他の遺跡なども詳しく知りたいです。

はじめてわかったことなどがあり勉強になってよかったです。



岡原中学校  
ながむらきりと  
中村聖杜くん



岡原中学校  
やまさきはるが  
山崎晴音さん

自分が全く知らなかったことや初めて知った事がたくさんあったので学校に帰ってから友達に教えたりできたらいいなと思います。

あさぎり町の文化や歴史を知ることが出来てとても良かったです。もっと知りたいなと思いました。



須恵中学校  
おみやのほみや  
大飯保也くん



須恵中学校  
いしはらみずな  
糸原瑞乃さん

初めて知った事がたくさんありました。また、学校などで詳しく調べたいと思いました。

身のまわりにもこんなに史跡があったなんて知りませんでした。史跡のことがよくわかって良かったです。



深田中学校  
にしゆらぎ  
西悠希くん



深田中学校  
のぞみゆみか  
野添弓華さん

今日は色々なところをめぐって自分の知らなかった事を知りこれからも家で勉強していきたいと思いました。

参加してくれたみなさん  
今日はどうもお疲れ様でした！



あさぎり町役場  
きせがけんしろう  
北川賢次郎さん

11 せきれい館

深田校区公民館「せきれい館」の1階ロビーには旧深田村の古い絵図が展示されています。2分の1サイズのレプリカですが原本は文化10年に描かれたもの。よく見ると昔の村の様子がわかります。



2階には考古資料が展示してあります。本目遺跡から発見された免田式土器は弥生時代に作られたものでこの地域の特色がよく出ています。

さまざまな出土品の中に、須恵器という土器がありますが、須恵とは古代の豪族の名前。この球磨郡にも入ってきており、古墳時代から平安・鎌倉時代まで土器を作っていたようです。